令和７年度　　信楽高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・保護者や地域住民の信頼に応える、開かれた学校づくりを推進する。
・基本的生活習慣の確立を目指し、全職員の協力体制のもとで指導を徹底する。
・基礎学力の養成に重点を置き、きめ細かな工夫ある学習活動を展開する。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	校長は、教育方針を明らかにして学校経営を行っている。	A		
	学校は、保護者・地域に信頼される学校づくりを行っている。	A		
2　学習指導	学力向上に向け、分割・習熟度・TTなどの授業によるきめ細かな指導を実践している。	A		
	生徒が意欲的に学習に取り組み、興味・関心を持つよう授業改善に取り組んでいる。	A		
3　生徒指導	基本的生活習慣と社会規範の定着に努め、けじめある学校生活が送れるように指導している。	A		
	生命を大切にし、いじめを許さない生徒を育成している。	A		
4　進路指導	自己の進路について考えさせ、進路希望が実現するよう指導している。	A		
	生徒一人ひとりに応じたきめ細かな進路指導を実践している。	A		
5　特別活動等	生徒が自主的に計画し積極的に参加できる学校行事を行っている。	A		
	学級・生徒会・部活動等において自律的な集団づくりを行っている。	A		
6　学校図書館	生徒の学習活動と教職員の教育活動を支援している。	A		
	生徒の興味・関心を喚起し、教養を高めるような資料を提供している。	A		
7　保健・安全指導	生徒の健康や安全に関する自己管理能力を育成する指導を実践している。	A		
	生徒の事故・怪我・病気等への対応を適切に行っている。	A		
8　人権教育	さまざまな活動を通して、自主的民主的に、人権学習に取り組んでいる。	A		
	生命や人権を大切にする指導を実践している。	A		
9　環境教育	美化活動等の体験的活動を通して環境学習を行っている。	A		
	ごみの分別収集、清掃の徹底をし、生徒の環境意識の向上を図っている。	A		
10　事務・管理	時代の進展に伴う施設・設備の充実や安全管理に努めている。	A		
	校務の円滑な運営がなされるよう、無駄のない事務や適切な文書管理に努めている。	A		
11　その他 学校の取組	職員の共通理解・意思一致を図り、地域の教育力を活かした学校教育を推進している。	A		
	学校生活についての情報を保護者に提供し、連携を図っている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：　http://www.shigaraki-h.shiga-ec.ed.jp/